

事業所名

児童デイサービスはればれ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

7 月

22 日

法人（事業所）理念		信頼関係をすべての原点とし、『三方よし』の精神で子ども・家庭・地域とともに歩む支援を目指します。		
支援方針		一人ひとりの『大好き』を見つける環境を整え、『できた！』『みつけた！』という成功体験と発見の喜びを通して、子どもたちの自己肯定感と豊かな心を育みます。		
営業時間		9時30分から18時30分まで（土曜日は9時00分から18時00分まで）	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・来所時の定期的な検温や日中の健康観察を行い、変化が見られた場合は速やかにご家族と連携・共有 ・手洗い・うがい・靴の整理・荷物の片付けの習慣化（絵カードやイラスト等を使用した見通しの補助） ・着替えやボタンの留め外しなど、身の回りのことに主体的に取り組むサポート ・定時での声かけや絵本や絵カードを通してトイレに行く習慣を作るとともに、「行きたい」を伝える練習と成功体験を重ね、スモールステップで自立を促す ・道具（ハサミ・クレヨン等）を正しく使うための手先の協調動作の支援		
	運動・感覚	・身体を使った遊びを通じた、体幹・バランス感覚を育む運動療育 ・遊びの中で、自然なからだの使い方や力の加減の習得サポート ・粘土・絵の具・紙・自然素材などを用いた、五感を豊かに刺激する感覚遊び ・ハサミやのり、クレヨン等の道具操作を通じた手指の発達と「できた！」達成感の積み重ね		
	認知・行動	・色・形・大きさ・感触（固い・柔らかいなど）の違いを、制作活動や感覚遊びの中で実際に見て、感じる体験 ・「切る」「貼る」「組み立てる」などの順序を理解し、見本に合わせて作品を作り上げる練習 ・イラストや絵カード等の視覚支援を活用した、次の行動や活動手順の見通しづくり ・遊びの切り替えをサポートする環境設定と関わり		
	言語 コミュニケーション	・造形遊びや運動遊びを通じた、「これやりたい」「貸して」「手伝って」などの気持ちや要求を伝える練習 ・絵本の読み聞かせを通じた、言葉の獲得や聞く力の形成、物語の世界観を楽しむ体験 ・職員や友だちとのやり取り（ごっこ遊びや手遊びなど）を楽しむ体験		
	人間関係 社会性	・順番や貸し借り、交代のルールを遊びや道具の共有の中で学ぶ体験 ・共同での造形遊びや簡単な集団ゲーム、運動遊びを通じた、友達と一緒に同じ活動を楽しむ喜びの共有		
家族支援		家庭や幼稚園・保育園、事業所での様子を丁寧にご家族と共有し、お子さまの課題や成長を共通理解しながら連携して支援を行います。 また、日々の子育てのご相談や必要な情報提供も行っておりまいます。	移行支援	就学に向けて、保育園・幼稚園、小学校などの関係機関と連携しながら、一人ひとりの課題に合わせた移行支援を行います。ご家族のご希望に添った、新しい環境で安心して自立した生活を送るための実践的なサポートに取り組みます。
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園、相談支援事業所等と定期的に情報交換を行い、一貫したサポート体制を構築してまいります。	職員の質の向上	新人研修や定期的な事業所内研修（虐待防止研修や感染症に関する研修等）の実施により、支援技術や安全管理の向上に日々取り組みます。また、職員の資格取得を支援し、より質の高い療育の提供に努めます。
主な行事等		クリスマス会やハロウィンなどの季節行事、様々な道具を使いみんなで楽しむ造形遊びや運動遊び、おやつ作り等		